

SBF2014 年 一泊旅行のご案内 2

日程 9月13日(土)～14日(日)

行き先 普陀山

テーマ「中日を繋ぐ仏教聖地を歩く」

今年は、中国における仏教四大聖地の一つである普陀山へ行きます。

普陀山は山という字がつきますが実際は島です。「海天佛国」とも呼ばれ島全体が観音菩薩の霊場としてにぎわっています。中国のみならず、諸外国からの訪問者も年々増えています。信仰心からのみの目的ではなく、島内に点在する寺院、奇岩、風光明媚の自然景観などが観光地としても注目を集めています。

普陀山が仏教の聖地となった故事には、日本からの留学僧に絡んだお話が残るなど、日本の仏教を語るのにも欠かせない聖地です。

日本人は、是非この機会を活かして限りある滞在期間を有効にお過ごしください。

中国人は、三回参りといって3年連続行かなければとの云われもあるようですが、とりあえずはそれに拘らず観光のつもりでお気軽にご参加ください。



費用 時期が早いため、詳細価格が未定ですので、概算ですが募集を開始します。

- ◇ ツインルームを2人宿泊の場合:概算 1,700 元(ホテル・食事込み)
- ◇ ツインルームを1人宿泊の場合:概算 700 元プラスの見込み。
- ◇ お子様料金は未定

申込 下記を記載して佐藤へお願いします。

宿泊希望形式

- 🚗 ツインルームに1人で宿泊
- 🚗 ツインルームに2人で宿泊 (相部屋の決まっている方は、その方の氏名を記載)
- 🚗 ツインルームに3人で宿泊 (ベッドの追加要不要明記)

* お申し込み締め切り:8月末とし、以降のキャンセルはキャンセル料が発生します。

概略旅程

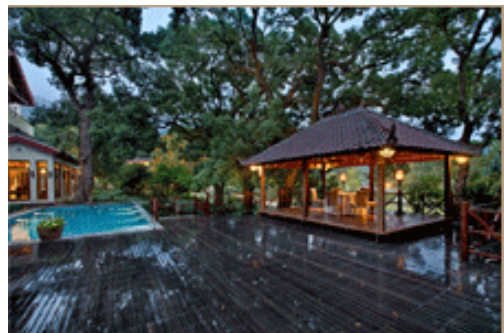
日程	場所	スケジュール	飲食
9月13日 (土)	上海 ↓ 舟山	7:30 花園ホテルへ集合・出発 【杭州湾大桥】、【舟山跨海大桥】を經由して、朱家尖に到着 (約4時間) 11:30 昼食 13:00 船に乗って普陀山へ 【西天景区】を観光:心字石、梅福庵、磐陀石、二龟听法石等 15:00 普陀山第一大寺-【普济寺】を観光 18:30 ホテルイン	朝食× 昼食○ 夕食○

		ホテル: 雷迪森酒店★★★★★	
9月14日 (日)	舟 山 ↓ 上 海	07:30 朝食 08:00 【紫竹林景区】を観光: 不肯去观音院、潮音洞等あり 09:30 【南海观音大仏】を観光 10:30 第二大寺-【法雨寺】を観光 12:00 船に乗って朱家尖に帰る 13:00 昼食 14:00 バスで上海に帰る 18:00 上海に帰着予定	朝食○ 昼食○ 夕食×

【ホテル紹介】 普陀山雷迪森庄園 五星級

舟山 普陀区 法雨路 115 号, 近法雨寺
 电话 (0580)6690666 传真:0580-6690123

舟山 (普陀周辺) に位置するランディソン プトウオシヤン リゾート舟山 (普陀山雷迪森庄園 舟山)からは、1 km 以内に普陀山がある。舟山のホテルには、コーヒーショップ / カフェとスイムアップ バーがあり、屋外プールもご利用いただける。



108 室あるエアコン付き客室にはミニバーと室内金庫があり、無料の高速インターネット アクセス (無線および有線)、客室の液晶テレビでは、DVD プレーヤーをお楽しみいただける。バスルームには、独立した浴槽とシャワー、デザイナーバスアメニティ、スリッパ、無料のバスアメニティがあり、室内で冷蔵庫、コーヒー / ティーマーカー、無料のボトルウォーターをご利用いただける。

【主な観光スポット】

普陀山

当地が観音霊場となった由来は、916 年、日本から中国への留学僧である慧萼(えがく)が、中国留学を終えて帰国しようとした際、日本に招来しようとした観音菩薩が当地で日本に渡ること拒んだ(=不肯去)、という故事にちなんでいる。よって、その観音菩薩は「不肯去観音」と称されており、そのお堂は「不肯去観音院」と呼ばれる。以後、この舟山群島中の普陀山は、観音菩薩の浄土である補陀落に擬せられ、人々の信仰を集める中国有数の霊場となった。「普陀山」という名称の由来も、「補陀落」である。



梅福庵(磐陀石)

梅福庵は島の東側の名勝古跡の多くある山間にある「尼寺」である。



SBF

近くには、普陀山を代表する奇石「盤陀石」があり、ここに通じる古道は絶好の観光スポットである。

普濟禪寺

普濟禪寺は前寺とも呼ばれ普陀山三大寺の主刹である。寺の中央にある円通宝殿は観音菩薩正殿で、高さ8.8メートルの観音菩薩像を祭り、その周囲に観音の三十二応化身をめぐらしている。



不肯去觀音院

日本の僧慧鑄は五台山で観音像を入手、船で帰国の途中、普陀山にさしかかると海面に鉄の蓮が何百と湧き出し、船が通れなくなってしまった。「観音像が海を東向する機縁はまだ熟していないということでしたら、どうぞこの山にお留まり下さい」と祈ると、船はすぐに動けるようになった。以来、慧鑄は普陀山に尊像を祭り、こうして普陀山は観音道場となった。



南海大觀音

1995年着工し、1997年秋建立された普陀南海大観音は、普陀山の前住職妙善大和尚により開眼法要が行われた。高さ33m、重さ70t、総工費3500万元(5億5千万円)、世界各国の観音信者の寄進により建てられた。中国で一番有名な御利益のある観音菩薩像となり、毎年300万人以上の参拝者で賑わっている。



法雨禪寺

法雨禪寺は後寺とも呼ばれる普陀山第二の大寺。1581年、明の僧真融が蛾眉山から来て、寺を建立したのが始まりといわれる。寺内の建物は天王殿、玉仏殿、円通殿、大雄宝殿、藏経楼、印光法師記念堂などで、このほか鐘楼と鼓楼がある。

